

調査・研修等計画届出書

令和 5年 9月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次 ㊟

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 5年10月11日から10月13日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	青森県八戸市周辺視察	
会場名（会場所在地）	岩手県洋野村視察・岩手県田村視察 青森県八戸市美術館視察・青森県おいらせ町視察	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	岩手県洋野村視察 ・東日本大震災からの復旧・復興の取組みについて 岩手県野田村視察 ・野田村復興展示室 青森県八戸市美術館視察 ・学校、企業などの連携と効果、アートを通じてのまちづくり、イベント等における市民の反応 青森県おいらせ町視察 ・東日本大震災からの復旧・復興の取組みについて	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	富田 宗一・小澤 勝・西本 潤・三木 雪実・宮藺 伸二・高島 淳・山内 精一郎・颯田 季央・黒柳 知世	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 5 年 10 月 31 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和5年10月11日から10月13日まで（2泊3日）
調査先・研修名	青森県八戸市、青森市おいらせ町、岩手県洋野市、岩手県野田村、
会場名（会場所在地）	青森県八戸市美術、各市町
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	岩手県洋野村視察 ：東日本大震災からの復旧・復興の取り組みについて 岩手県野田村視察 ：野田村復興展示室 青森県八戸市美術館視察 ：学校、企業などとの連携と効果、アートを通してのまちづくり、イベント等における市民の反応 青森県おいらせ町視察 ：東日本大震災からの復旧・復興の取り組みについて
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
10月11日 岩手県洋野町 「防災、減災、被災からの復旧、復興の取組について」 津波の犠牲者数に「伝承」が影響... 洋野町では海沿いの町であるが、東日本大震災で最大13メートルの津波に襲われたが、犠牲者は一人も出さなかった。過去、昭和三陸津波など何度も災害を経験しそこで得た教訓を受け継ぎ、活かしたことが避難行動に繋がったとされる。 人的被害が無いことが早期に確認できたため、がれき撤去も大型重機を早期に使用することが可能となった。 防災計画は被災時に機能を果たしたが、今後は担当課だけでなく全職員の習熟度	

を上げていくことが課題である。

基幹産業の早期回復が重要と考え、町長の強い思いで「水産加工等経営再建緊急支援金の交付」を執行した。

現地見学として慰霊碑と震災後に国事業で設置された防潮堤を見学。約15メートルの高さに圧倒されたが、その13メートル付近まで津波が来たと聞き、津波の脅威を体感することができた。

10月12日 岩手県野田村

「東日本大震災からの復興状況等について」

震災前より就任され、震災時、震災復旧にも尽力された小田祐士村長より、子細丁寧な説明を頂いた。

主な説明は、「震災への対応」「復興に向けて」「津波防災の刷新」「住まい及び生活の暮らしの再建」などであった。

村長自体も海岸近くに居を構え、津波の被害にあった。役場周辺の公共施設は倒壊は免れたが一階部分が浸水や大規模半壊の被害を受けた。特に学習センターの被害が大きく、ほぼすべての図書が海水に浸かった。(最初の挨拶はこの学習センターで行った)

平成23年11月「野田村東日本大震災津波復興計画」を策定

策定に先立ち住民懇談会をのべ4回開催。震災後の村づくりについて意見を交わしたうえで、6月に復興の基本イメージを住民に示した。

津波防災の刷新として「多重防災型のまちづくりで、将来にわたって災害に強いまちに」「震災の経験と教訓を踏まえた避難場所・避難路のネットワーク」説明を受けた。

小田村長の実体験に基づいたお話をお聞きし、震災時の状況から復興事業までの一連の流れが子細分かり、大変有意義であった。

八戸美術館

八戸市では活発に展開される市民の文化芸術活動の拠点と「アートのみちづくり」中核施設として新美術館を整備し、2021年11月3日に開館した。

新美術館の設計

設計者選定プロポーザルで提案された「学びの拠点（ラーニングセンター）」という概念を活かし、2種類の（ジャイアントルームと専門性の高い個室群）特徴的な空間により、美術館における学の循環を実現した。

美術館の特徴

展示、調査研究、収集保存という「美術館」が担う基本的な役割に、人々が互いに刺激し合いながら感性を高め、育まれていく“共育”を担う「アートの学び」と、観光や福祉、地域コミュニティなど様々な分野を横断した文化政策を担う「ア

ートのまちづくり」を加えた、3つの役割を融合させた美術館としていく。

(1) 新美術館のビジョン…種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館～出会いと学びのアートファーム～

(2) アートの学びを提供する美術館

アートの通した学びに重点を置き、アーティストや美術館スタッフ、市民など様々な人々が出会う場を創出し、一緒に作る、話す、考える、学ぶ、見る、知るなどアートを通して生まれる行為から人々の創造的な発想や表現する力、異なる視点などを育み、まちをつくる力に変えていく。

10月13日 青森県上北郡おいらせ町

「東日本大震災からの復旧・復興の取組について」

東日本大震災において、おいらせ町では震度5強という強い揺れを観測するとともに、その後発生した大津波は推定8メートルの高さで襲い掛かり町民の生活・経済基盤に大きなダメージを与え、沿岸部を中心に大きな爪痕を残した。それにより、おいらせ町は平成23年8月17日特定被災地方公共団体に指定され、復興のために実施する必要がある事業については復興交付金により対応できることになり、これに対応した「おいらせ町震災復興計画」（平成24年1月）を立案し、これを指針とした復興・再生を進めた。

おいらせ町津波監視カメラを見学

360° 旋回2眼式カメラを整備し、照明が全く無い深夜においても波打ち際から沖合の海面の変化、河川の河口状況を広範囲にわたり監視する。

おいらせ町明神山防災タワーの視察見学

避難階床面高さ…海拔23メートル、収容人数134人

明神山防災タワーは浸水域内に位置し、大津波避難場所までの避難が困難な方々のための緊急避難施設（場所）となる。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 11 日	名古屋飛行場	飛行機	片道	青森空港	693	km	37,300	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	アパホテル本八戸				0178-73-3000		13,000 円		
備考欄									
青森空港から八戸市内の移動の際はレンタカーを使用する。									

50,300 円

日付	出発駅	交通手段	片道 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 12 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	アパホテル本八戸				0178-73-3000		13,000 円		
備考欄									
八戸市内の移動の際はレンタカーを使用する。									

小計 13,000 円

日付	出発駅	交通手段	片道 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 13 日	青森空港	飛行機	片道	名古屋飛行場	693	km	37,300	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									
八戸市内から青森空港の移動の際はレンタカーを使用する。									

パック等による割引など

小計 37,300 円

22,250 円

宿泊費 合計

交通費 合計

26,000 円

74,600 円

申請額合計 (宿泊費+交通費-割引代)	78,350 円
------------------------	----------